



# 村上信用金庫 DX戦略

村上信用金庫イメージキャラクター

いよちゃん

ぼーやくん

サケマル

サケミン



2026年4月1日





1. ご挨拶
2. ビジョン
3. DX戦略 1. デジタル技術を活用したお客様支援
4. DX戦略 2. 当金庫内における業務の効率化
5. DX戦略 3. DX推進人材の育成
6. DX推進体制
7. DX推進達成の指標





村上信用金庫は、2024年度から中期経営計画「未来を拓く変革への挑戦」に取り組んでおり、重点戦略の一つに「業務・組織改革の深化とDXの推進」を掲げております。この取り組みを更に進めるべく、この度「村上信用金庫DX戦略」を策定いたしました。

当金庫には「地元のメインバンク」として、「地域のすべての人の発展と幸せ」のために行動し、協同組織金融機関として地域が抱える課題解決に取り組み、「持続可能な地域社会」を創る使命があります。

「DX戦略」の推進は、まさに「未来を拓く変革への挑戦」であり、地域の課題解決に資するものであります。当金庫は役職員一丸となり「DX戦略」を推進し、「持続可能な地域社会」の実現に向けて、取り組んでまいります。



2026年4月1日

理事長 五十嵐和明

## 《経営理念》

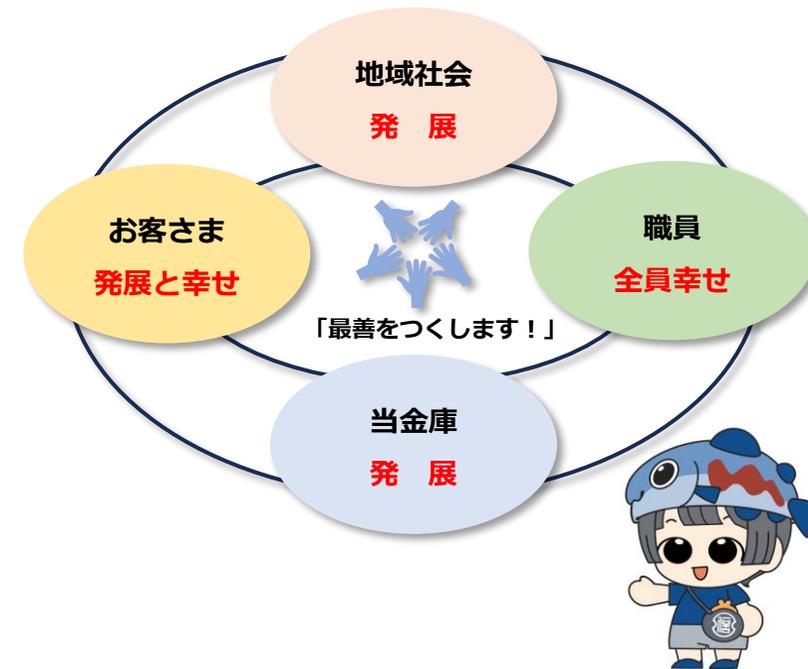
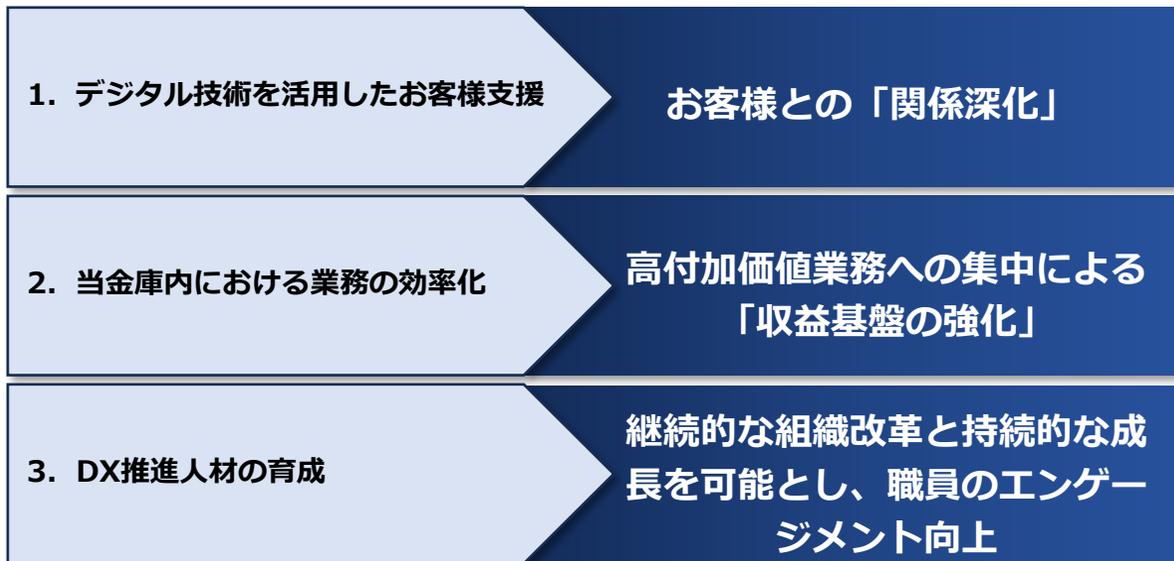
1. 私たちは、お客様の発展と幸せのために最善を尽くします。
2. 私たちは、地域社会の発展のために最善を尽くします。
3. 私たちは、村上信用金庫の発展と役職員全員の幸せのために最善を尽くします。



## 経営ビジョン

「地元のメインバンク」としての存在価値を維持・向上するため、データを活用したお客様支援と質の高い金融サービス提供により、デジタル化を前提とした持続可能な業務運営体制を確立し、地域企業の課題解決に迅速かつ確実に寄り添う金融機関へと進化します。

### ビジョン達成のための3つの柱と目指すべき到達点





顧客課題の多様化に対応するため、デジタルを活用した顧客の課題把握～提案までのプロセス見直し、提供サービスの拡充を行い、伴走型支援機能を強化します。

strategy

1

顧客情報（データ）を利活用した課題・ニーズの把握

- 情報共有システムの導入による、本部・本支店間における顧客情報（事業戦略・経営課題等）の共有と分析
- 業界独自のビッグデータ活用基盤「しんきんDB」活用によるニーズ発掘とタイムリーな商品提案

strategy

2

課題解決力強化に向けた外部機関連携とデジタルサービスの活用

- 外部機関を活用・連携した課題解決支援の促進
- ITコンサルタントやIT企業等と連携したDX支援の推進
- 「しんきんコネクト」等ポータルサイト活用による販路拡大支援

strategy

3

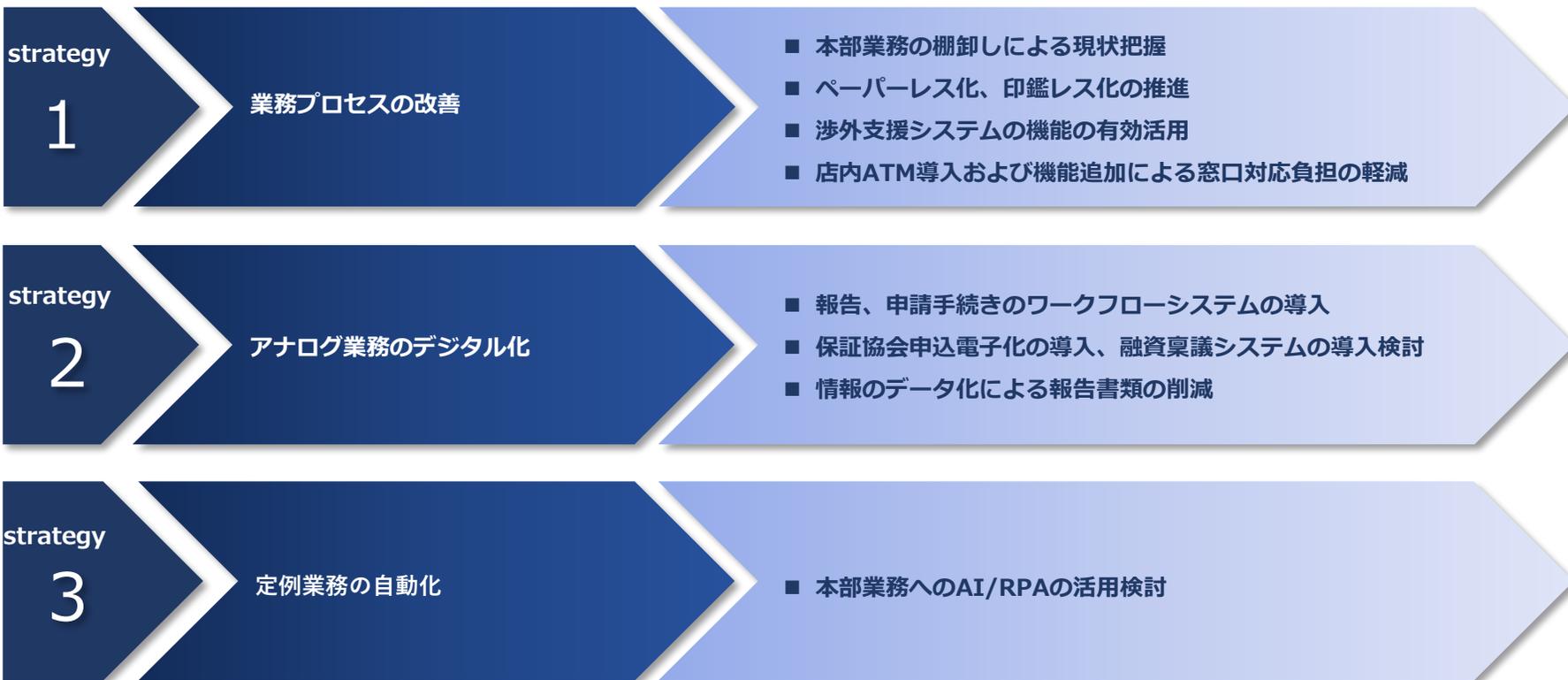
顧客向けデジタルサービスチャネルの強化

- インターネットバンキング・でんさいの機能活用による利便性向上
- 通帳レスアプリ「しんきん通帳」の利用者拡大
- ホームページやSNSによる情報発信強化
- ローンWEB申込・完結型商品の拡充と推進

お客様との「関係深化」



顧客の本業支援・ニーズへの対応機会創出のため、営業スタイルの刷新、間接業務の効率化とともにデジタル環境の整備を図ります。



高付加価値業務への集中による「収益基盤の強化」

## サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティに関する対策の方針として、「[サイバーセキュリティ管理に関する基本方針](#)」を策定し公表しております。今後のDX推進に伴い拡大するデータ利活用やデジタル接点の高度化に対し、本基本方針に基づくセキュリティ管理を徹底することで、安全かつ持続的なDX基盤を確立します。



組織全体の推進力を高めるため、継続的な各人のスキル向上及び組織連携体制を構築します。

strategy

1

お客様向けDX支援体制の構築

- DX支援におけるワークフローの作成・運用
- 外部機関との連携スキームの構築
- 職員向けDX支援研修の実施
- 支援事例の共有及び事例研修会の開催

strategy

2

金庫内DX推進者の育成

- 県内外信用金庫、専門家（ITコンサルタント、IT企業等）との連携による知見の習得

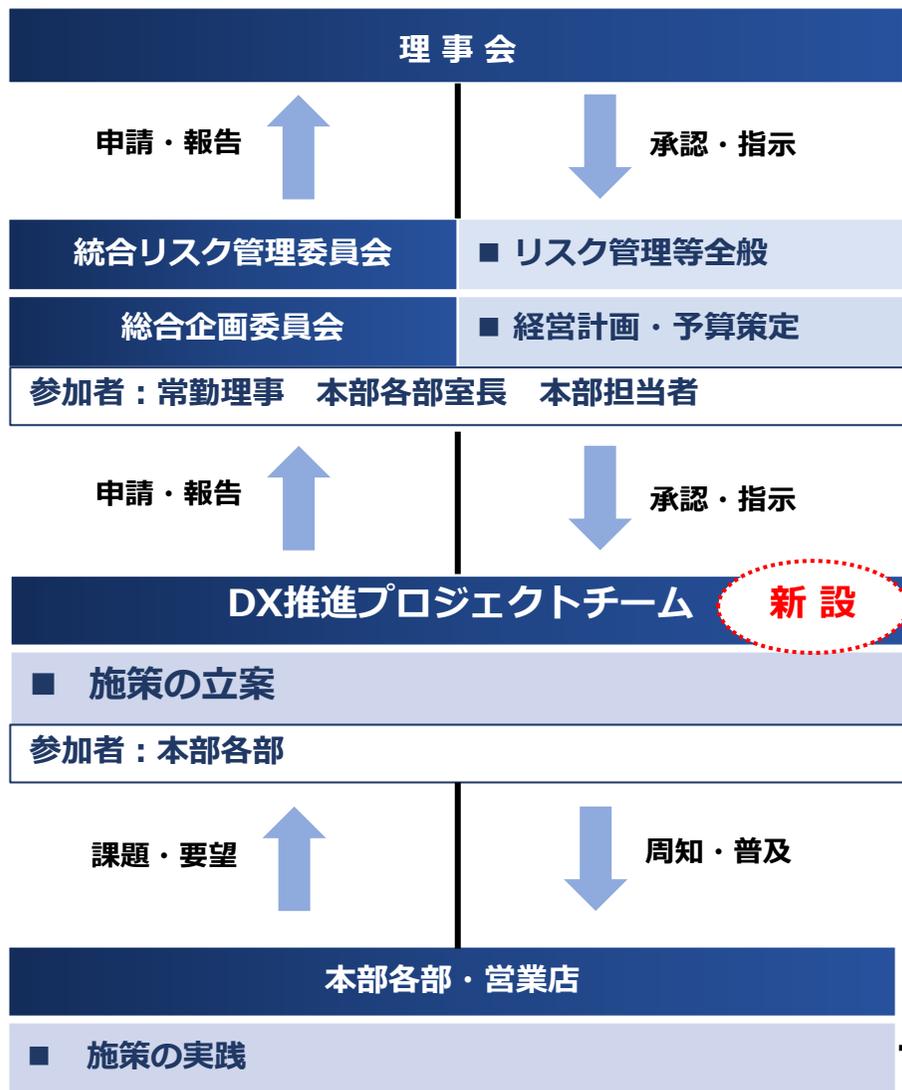
strategy

3

デジタルリテラシーの向上

- ITパスポート等資格取得の推奨
- eラーニング（Sels）の活用

継続的な組織改革と持続的な成長を可能とし、  
職員のエンゲージメント向上



## DX推進体制について

当金庫業務のデジタル化・IT化の促進および事業者支援におけるDX推進ならびに組織体制の整備・担当者スキルの向上を計画的かつ効果的に進めていくことを目的として「**DX推進プロジェクトチーム**」を令和7年11月に結成しました。

プロジェクトチームメンバーは本部各部よりそれぞれが役割をもった形で参加しており、DX推進を効果的に進めることができる体制を整備しております。

### 参加部署の役割

| 業務部               | 総合企画部 | 総務部   | 審査管理部 |
|-------------------|-------|-------|-------|
| システム・サイバーセキュリティ関連 | 経営計画  | 総務・人事 | 事業者支援 |

外部機関・外部専門家  
(コンサルタント・IT企業等)

■ 専門的知見・技術の提供

連携



DX推進における達成度を測るため、KPI（重要業績評価指標）を設定いたします。

### 1. デジタル技術を活用したお客様支援

|                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| (1) ローン申込総数に占めるWEB受付割合の増加 | 2028年度末までに50%                    |
| (2) 通帳レスアプリ「しんきん通帳」の普及    | 2030年度末までに2,000口座                |
| (3) DX支援の促進               | 2028年度末までにDX支援企業数累計15先（個人事業主含む）  |
| (4) インターネットバンキングの普及       | 2030年度末までにインターネットバンキング契約者数1,000先 |
| (5) 公式LINEアカウントの普及        | 2028年度末までに公式LINEのお友だち登録者数2,000人  |

### 2. 当金庫内における業務の効率化

|                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| (1) 保証協会申込電子化の導入 | 2026年度中の導入・運用開始を目指す       |
| (2) ペーパーレス化の促進   | 2026年3月末時点の紙使用量を基準に毎年3%削減 |

### 3. DX推進人材の育成

|                           |                                    |
|---------------------------|------------------------------------|
| (1) DX推進関連資格取得の推奨         | 2028年度末までにITパスポート等のDX推進関連資格取得者数50名 |
| (2) eラーニング（Sels）DX科目履修の推進 | 2028年度末までに全役職員の履修                  |
| (3) 職員向けDX支援研修会開催         | 2026年度中に開催                         |
| (4) 支援事例共有・事例研修会の開催       | 毎年開催                               |